

## 令和6年度 地元産業界等との連携した実践的 PBL を含む授業科目等の開講の実施

### 1. 連携している地元産業界等の組織名称

村上市(総務課危機管理室、福祉課)

### 2. 当該授業等を実施する学部・学科

医療学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻

医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻

医療学部 リハビリテーション学科 心理学専攻

### 3. 当該授業等を開講する目的

災害時の地域の危険性や避難方法、日ごろからの備えについて学ぶこと

### 4. 当該授業等の具体的な内容

防災に係る知識や避難所での過ごし方など災害時にどのように周囲の方々と協力し、助け合っていくのかを学ぶ授業である。

村上市総務課危機管理室と福祉課の担当者から村上市の防災に関する取り組み、避難場所、基本的な防災発生時の対応方法について説明を受けたうえで、実際に災害が発生した際取るべき行動や日頃からの備えについて、検討・実施した。授業内容は、「避難所の開設・運営訓練」と「防災マイタイムラインの作成」の2部構成となっており、「避難所の開設・運営訓練」では、学生がグループに分かれて避難所の設営・開設をした。各グループでディスカッションを行いながら一般避難者の居住スペースと、要配慮者居住スペースを用意し、実際に災害発生時に使用している段ボールのパーティションや簡易ベッドを組み立て配置し、その後開設した避難所を利用して、運営側と避難する側に分かれ、実際に運営訓練を行い、避難所で取るべき行動を実践形式で学んだ。「防災マイタイムラインの作成」では、グループに分かれてディスカッションや発表を行った。災害時に出される「避難情報の警戒レベル」に伴う、状況・避難情報・住民が撮るべき行動について、組み合わせゲームを行い、警戒レベルに対する正しい状況や取るべき行動を理解し行動できるための知識を学んだ。